

岡本眸の冬の句

目を戻す一樹ありけり冬景色
茶が咲けば机催合ひし兄のこと
身のうちを何か退きゆく冬の水
覚めてまだ今日を思はず白障子
はつふゆといふ籠り音を愛すかな

松岡隆子
抽